

# 関係人口の創出による地域コミュニティの創生について

伊達市議会総務生活常任委員会

## 調査の目的

本市においても喫緊の課題である少子高齢化や人口減少問題に対応するための一つの施策として、二地域居住やふるさと住民制度等の関係人口創出に関する各種施策の先進事例を視察し、関係人口の拡大と地域コミュニティの活性化を図ることで市政進展に資するため。

## 調査の時期

令和7年10月～令和8年1月（委員会を4回開催）

- (1) 令和7年10月2日（木）10:00～
- (2) 令和8年1月15日（木）9:00～
- (3) 令和8年1月15日（木）14:50～
- (4) 令和8年1月16日（金）14:30～

## 調査の手法

### 1 現状把握

- (1) 市所管部（未来政策部協働まちづくり課）より「市が取り組んでいる関係人口創出に関する施策について」等について説明を受けるとともに質疑・意見交換を行いました。（10/2）



## 2 先進事例調査

- (1) 愛媛県宇和島市を視察し『宇和島市総合戦略における基本目標-魅力の発信による「住みたい・行きたい・帰りたい」の実現<施策3>関係人口・交流人口の創出』について、戦略の全般的な考え方や具体的な取り組みについて説明を受け、その後、質疑応答を行いました。(1/15)



(宇和島市職員から説明を受ける)

- (2) 愛媛県松山市を視察し「松山市と楽天グループ㈱との包括連携協定」「だんだんイノベーションラボ (外部人材等活用イノベーション促進事業)」「産学官連携窓口「まつやま未来パレット」』について説明を受け、その後、質疑応答を行いました。(1/15)



(松山市職員から説明を受ける)

(3) 総務省を訪問し、国が進める二地域居住やふるさと住民登録制度等の関係人口創出に関する各種施策について説明を受け、その後、質疑応答を行いました。(1/16)



## 調査結果の報告

令和8年伊達市議会定例会第2回定例会議（3月議会）の本会議で委員長が調査結果の報告を行いました。(3/25)

